くがはら

発　行：地域力推進久が原地区委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085　大田区久が原4-12-10
TEL（３７５２）４２７１
FAX（３７５２）４５１４
題　字：三木兼吉

成人の日の大鯛（おおだい）は虹の如し
〈水原 秋桜子〉

久が原地区管内	人口	男	13,129人
		女	13,601人
		計	26,730人
	世帯		12,254世帯

平成23年12月1日現在

新年のごあいさつ
久が原地区自治会連合会長　小原　洪一

新年明けましておめでとうございます。昨年は三月十一日に発生した東日本大震災により、予想もしなかった大地震と大津波の被害、そして福島第一原発の震災被害による原子炉の破損による放射能被害は日本ばかりでなく自動車生産をはじめとして世界各地に影響を与えました。災害直後はすべての行事が中止ないしは延期となり、日本が二度と立ち直れないのではとの状況でした。しかし時間がたつにつれ震災復興の為には日本国中が元気を取り戻さねばとの気持ちが高まり種々の行事が行われるようになりました。

久が原地区の恒例行事であります「ふれあい久が原大運動会」も第二十二回目となり、晴天のもと松仙小学校校庭より元気を発信することができました。各自治会で行われた防災訓練も例年とは異なり、初参加者が増え自助・共助の重要性を認識すると同時に災害対応への関心の深さを感じました。

日本の復興はこれからで、まだ長い道のりがあります。私たちも安全で安心して暮らせるまちづくりを進めることにより間接的に復興応援となります。

今年こそ天災・犯罪の無い明るい年にしたいものです。皆様方のご繁栄、ご健勝を心より祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

ご存じですか？
末廣稲荷　本光寺住職　高倉　章瑞

末廣稲荷は、久が原二丁目の出世観音バス停から天使幼稚園へ向う道の角にあります。

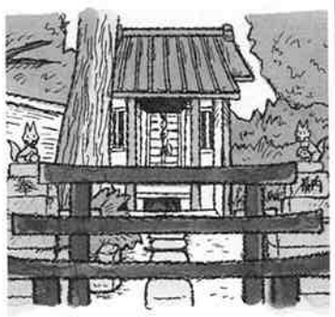
バス通りから石段を上ると赤い鳥居がいくつかあり、銀杏、松、八重桜などが繁り、小さな空間ですが別世界のようです。ここに末廣稲荷が祀られています。

昔、久が原駅の付近は末廣と呼ばれており、この地の屋敷に祀られていたのが末廣稲荷です。ある時、縁あってこの現在の地に遷座されたといいます。

お稲荷さんは全国各地で、商売繁盛、家内安全などを祈って信仰されていますが、もともとは、その名の通り農耕の神です。

農事の始まる前、二月の初午（うま）の日にその年の五穀豊穣を祈り祭事を行います。この末廣稲荷でも、その年の恵みを祈り「稲荷講」が行われています。

※末廣稲荷では二の午の日に行われます。



成人の日によせて
大人への一歩　佐生　明佳

私は久が原で、多くの人に出会い様々なことを体験し、大人へと成長してきました。二十年間の思い出がたくさん詰まったこの町が大好きです。

今までお世話になった先生方や地域の皆様、友達、そしていつも近くで支えてくれた家族に心から感謝しています。時には独り善がりなことをしたり、意固地になってしまうこともありました。そんな私も今では成人式を迎え、一人の大人として社会に出ようとしています。

思い返せば色々なことがありました。母と手をつないで通った幼稚園、外で元気に遊びまわった小学校、趣味に没頭した中学・高校時代、毎日がとても楽しく充実していました。

子どもの頃は、久が原という小さなコミュニティーの中で、地域の皆様の庇護のもと伸び伸びと生活していました。しかし、大人になるにつれ、地域や学校といった枠を越えた規模の活動をする機会が増えました。徐々に視野が広がったと同時に、自分のことは自分で責任を持って管理しなくてはならないと感じるようになりました。

現在は、日々の勉学や部活動と、ささやかなボランティア活動に励んでいます。これらの活動を通じて自分を磨き、自分の可能性を最大限に広げていきたいです。そして将来は、グローバルな考え方で、何か社会に貢献できる立派な大人になりたいと思っています。

成人の日によせて
故郷久が原　戸田　駿己

新年明けましておめでとうございます。まずこの場をお借りして私自身が二十歳という長い人生の中での節目の年を無事迎える事のできた事をここまで育ててくれた両親と親族、温かく見守ってくださった地域の方々に感謝の気持ちを申し上げます。本当にありがとうございました。

二〇一一年という（東日本大震災があった）年は、全国民の記憶に残った一年であり私たち一人ひとり考え方、行動、つながりが問われ、そして見直された一年でもありました。

私たちの故郷「久が原」で平和で幸せな日々を送っていた中で突如として「故郷」をなくした人々がいます。「日常」を失った人々がいます。「命」を奪われた人々がいます。しかし、私たちはこの未曾有の困難に直面しながらも一歩ずつ手を取り合い復興、そしてその先の明るい未来に向かって歩き出しました。それも全て私たちの故郷を取り戻すためです。

小・中と「久が原」との密接な生活と対照的に高校、大学と進学した私は「久が原」で過ごす時間が短くなり、地域との関わりが薄くなってしまいました。しかし、小学校の前を通って割烹着をぶら下げ歩いていた事や、お墓参りの時に通りかかった八幡神社で缶ケリをしたりお祭りに行ったりしたことを思い出すたびに、私にとって「久が原」はかけがえのない「故郷」だと改めて実感いたします。

最後に新成人として「久が原」の一員として日々精進し飛躍することを誓います。これからもよろしくお願いします。

イベント情報

■久が原東自治会合同新年会
【日時】1月7日(土) 13:00～
【場所】久が原特別出張所集会室

■久が原西自治会新年会
【日時】1月8日(日) 13:00～
【場所】久が原会館

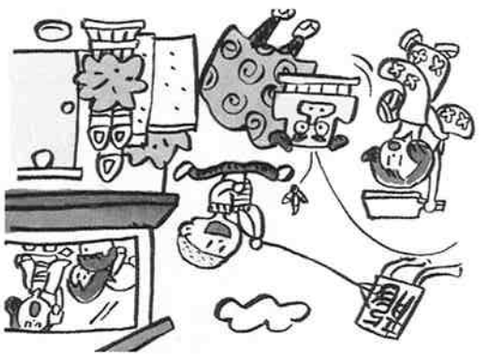
■とんど焼き
【日時】1月9日(月) 10:00～
【場所】西部八幡神社

■久原小学校くがはら冬まつり
【日時】1月15日(日) 10:00～12:00
【場所】久原小学校

■松仙小学校もつき大会
【日時】1月22日(日) 10:00～12:00
【場所】松仙小学校

■道々橋自治会初詣
【日時】2月5日(日) 7:30～
【場所】富士山本宮浅間大社

■青少対子どもレク大会
【日時】3月3日(土) 9:30～12:30
【場所】大森第十中学校
問合せ先　(3752) 4271
久が原特別出張所



新年には門づけに門松が飾られ、獅子舞が家々を回って歩いた。家では屠蘇(とそ)お雑煮を食べるのが慣わしで、子どもの好き嫌い、連が並び、御節(おせち)料理の中で、唯一くわいだけは苦くて食べられない。おせち料理の中で、しかっ味が一段とよくなる美味は鯉の軟骨の細切りを入れ、贈(おくり)ものにきたいぜをいれ、暮れにはあちこちの家から黒豆や栗きんとんが届いた。昆布巻きは物(ぶつ)ではなく、子どもの好物で、ある年の大晦日、男の子は凧揚げ、女の子は羽根突き、室内ではかるた、トランプ、双六をすることが多かった。凧揚げは近くの空き地で糸を目一杯だして、思う存分揚げることができた。凧は当時一銭で買えたもので、糸は目は自分で調節した。これがよく揚がり一番凧になったことがあるが、大きな四角や六角凧を買ってもらった時はうれしかった。一銭凧もそれなりにうれしかった。

まだまだ年上の兄弟達が百人一首を楽しい事や嬉しい事があると自然に笑顔になります。また、赤ちゃんが微笑むと周囲の誰もが笑顔になります。その場が和みます。今回は「笑い」について考えて見ました。

（小倉　敦司）

笑いと健康
とわやかケ健康講座⑩
とわやかケホールスタッフ原 TEL5700-5861

人は楽しい事や嬉しい事があると自然に笑顔になります。また、赤ちゃんが微笑むと周囲の誰もが笑顔になります。その場が和みます。今回は「笑い」について考えて見ました。

首をよくしていた。門前の小僧で私も知らず知らずに覚え、何枚かは上の句のさわりだけで取れるようになっていた。百人一首は意味を理解するようになるが、最近はテレビがのがあるが、最近はテレビがローンに押されてすっかり廃れてしまった。遊びながら学べるものとして、カルタもその一つだったかもしれない。

★はるばる北の国から吾川へ

山のかんがせがお目見えする。このかんがせが動きとうして再びの場所へ移動する。その育ちの場所も手狭になり、新たな場所に注目されたらしい。でもそれを見つけるのは難しい。でも子が産まれ大きくなるにつれ、ものの春から夏にはかんがせのその姿を消し、秋時期になると近くの多摩川へ移動している。そのため殖やす営巣場所が無い。だから繁川に繁殖しただろうか？

吾川で繁殖しているかんがせは草枯れ、野鳥が発見できる。

★繁殖場所がない吾川

冬のこの時期にまず目立つのはかんがせ・・・モ・・・圧倒的に数が多い。このかんがせは冬鳥で、春から夏にかけ、ほとんどの鳥が北部、シベリアなどから北へ移動する。

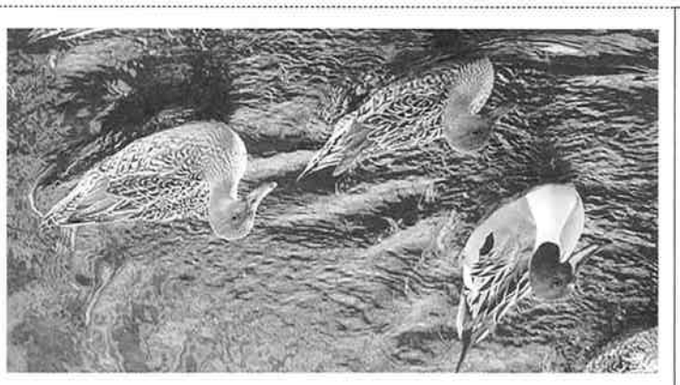
やアメリカ北部、シベリアなどから北へ移動する。

吾川の河床に生えるやっかいな藻類だ。吾川の河床は砂利的なのである。

★魅力的な久が原地域

ここ数年、河川改修が行われ、自然河床が失われたが、「吾川の会」は少しでも深みのある領域を残すように要望している。それが功を奏し、深みのある場所で潜って餌をとるキンクロハジロが来ている。それが何よりも子どもの大きな魅力となっている。

冬こそ吾川のぞいて欲しい。



冬こそ賑わう野鳥たち
〈連載〉冬川の会
冬川の冬・・・桜並木はじめ木々はすっかり葉を落とし、いかにも寒そうな冬川。まして冬川は三面コンクリート護岸のそいてみれば、今までの季節で見られなかった種類と量の河川で冷たさを感じる。
吾川
高橋　光夫

ムラ原のムジンリーズ㉗
澤田 幸弘さん
ほるびとクラブ「西部警察」シリーズなどの監督として活躍

昭和八（一九三三）年神奈川県生まれの澤田さんは、和中央大学を卒業後、日活撮影所入社。鈴木清順、斉藤武市、小林恭治に師事。

昭和四十五（一九七〇）年、映画「反逆のメロディー」で監督。映画「斬り込み」「関東幹部会」「反逆のメロディー」「ともだち」「俺達に墓はない」「あばよダチ公」「月光仮面」「任侠物語」「撃てばかげろう」「俺たちの勲章」「大都会シリーズ」「電撃！ストラダム」「誇りの報酬」「二時間ドラマ」など。

〈テレビ〉「太陽にほえろ！」「部警察シリーズ」「ゴリラ」「西部警察」「ほるびとクラブ」「ケ組」「ケ組」「ケ組